

「SAP(Sensor Augmented Pump)療法における基礎分泌補充調整強化が血糖コントロールに与える影響についての検証」

福岡赤十字病院では、表記の研究を実施しております。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記の問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんので、ご安心ください。

[研究概要]

1型糖尿病などインスリン分泌能がほとんど無い患者様にインスリンポンプを用いた治療を行うことがございます。そのなかでも持続血糖モニタリング機能を搭載したインスリンポンプである SAP(Sensor Augmented Pump)療法において、近年はスマートガード機能という、センサグルコース値が事前に設定した下限値に近づくと基礎インスリンを一時停止・センサグルコース値が回復すると自動的に再開する機能を有する minimed640G の登場により低血糖回避が可能となりました。この機能と合わせて、更に基礎インスリン補充調整を強化することが血糖コントロールに与える影響を確認します。

[研究の方法]

minimed640G を使用して SAP(Sensor Augmented Pump)療法施行中の患者様において一時停止時間短縮と高血糖改善を目指して基礎分泌補充調整強化を行います。この調整強化が血糖コントロールに与える影響を確認します。なお、一時停止時間短縮と高血糖改善を目指して基礎分泌補充調整強化を行う過程については通常外来診療における業務の範囲を出ないものです。

[研究の対象となる方]

minimed640G を使用して SAP(Sensor Augmented Pump)療法施行中の方

[ご協力頂く内容]

診療録に記録された診療情報(年齢、性別、既往歴、血液検査結果、血糖値記録)を研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

[外部への試料、情報の提供]

研究データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

[研究の公表について]

この研究で得られた知見に基づきその成果が学術目的のため論文や学会などで発表されることがありますが、その際も患者様の個人情報や個人を特定できる情報は公表致しません

[研究のデータ使用の取りやめについて]

本研究にデータを用いたくない場合には、下記の問い合わせ先までご連絡ください。取りやめの希望を受けた場合、それ以降、患者様のデータは本研究に用いることはありません。

[問い合わせ先]

福岡赤十字病院 糖尿病・代謝・内分泌内科
井元博文
連絡先：092-521-1211